

## こしば新聞

令和4年8月22日(月)50号



【お問い合わせ先】  
自由民主党  
東京都品川区第三十四支部  
〒140-0014  
品川区大井 5-6-2-101  
☎ 090-6106-2272  
Fax 03-6303-7037  
※ご希望の方には新聞をお届け致しますので、ご連絡願います。

ご相談や区政へ  
のご意見をお聞  
かせ下さい。  
☎ ぜひラインも



## 公約の点検

2019年の初当選以来、続けてきましたこしば新聞がこのほど50号目を迎えました。初当選した2019年4月から3年と4か月が経過しようとしています。いまいちど、自身の活動を省みるべきではないのかと思います。そのためには何をすべきかと考えましたところ、選挙で私が地域の皆様に公約として掲げていた政策をここで総点検してみてもどうかと考えました。点検の結果を皆様にご報告することで地域の皆様と真つづくに引き合うためです。そこで前回の政策と現時点で公約が実現していれば○、少し進んできたけどまだ実現していないのならば△、全く前に進んでい

なければ×という3つの判断で公約を評価してみました。

## 公約その1

当時は西大井にお住まいの方々から交通格差の是正を求められることが多かったため当時はまだ机上での話し合いで進んでいたコミュニティバスを大井・西大井地域に通すことを公約として掲げていました。それから3年後。コミュニティバスが西大井駅〜大森駅間を試行運行することになりました。ですので、このコミュニティバスは実現しましたので○とします。しかし本来、最も地域から要望の多かった西大井の循環ルートはまだ実現できていないためこれからも実現に向けて取り組んでいきます。私はもう一つ、バリアフリー化

を訴えてきました。

このバリアフリー化は大井町駅周辺をはじめとしたものでした。特に大井町駅西口にあるエレベーターの改善やエスカレーター設置の要望、東口の階段をエスカレーターに変えてもらいたいなどのご要望を受けまして、この3年間、決算や予算委員会などで質問や提案をしてきました。その結果、東口については、きゅりあんのエレベーターを早朝にも稼働させることになりました。そういう意味では少しずつ改善されたという意味で△とします。

## 公約その2

多角的な子育て支援を公約に掲げました。

当ても潜在的な待機児童の話もありましたし、在宅子育ての方への政策の必要性を感じていましたため、待機児童対策、在宅子育て向け施設の拡充を具体的な政策として掲げました。2019年当時の保育園の数は124園でしたが現在では144園に増えました。一方で、在宅子育て向け施設、いわゆるオアシスルームは19年と比べて増加していません。特に東・南大井地域に一つもオアシスルームがないという点では実現できていないことが浮き彫りになりました。しかし、ベビーシッターによるお子様の一時預かり支援が今年度から始まりましたので、在宅子育て向けの政策としては△と評価します。

## 公約その3

新たな防災対策による安全な品川を公約として掲げました。当時は防災アプリの実現や若者世代による防災活動への参加の促進を政策として掲げました。防災アプリは、想定以上に進んだので○です。LINEの品川区公式アカウントからハザードマップや災害時の避難経路の確認、気象情報まですぐに確認できるようにになりました。若者世代の防災活動への参加促進ですが、区は特色ある防災訓練を行っている町会や自治会を広報することで、多くの方が魅力的に思える防災活動を知ってもらおうとしています。必ずしも若者世代の参加が促進されているわけ

ではないので、こちらは△とします。

## 公約その4

19年当時は、まだコロナ禍前でしたので街や商店を活性化させることに焦点を絞っていました。さきほどリンクしますが、やはり若者世代が町会活動に参加してくれないという意見を聞いていましたので、どうにかして世代を超えて町会が盛り上げられるように若者世代の町会活動促進を公約に掲げていました。しかし、この2年間はコロナ禍であったことから、まだまだ活動促進ができていくかどうかは評価できません。しかし、若い世代も町会や自治会の会館でインターネットを自由に使えるよう、ICT化の推進を2年前から決算や予算委員会などで提案、質問をしてきました。その結果、今年度から町会が町会会館でWi-Fiを整備した際に負担する経費を区が大部分補助することになりました。実際に若者世代の参加が促進されているかどうかはまだ評価できない

ため、この政策は△とします。小規模商店を含めた支援政策ですが、プレミアム付き商品券は皆様もお使いでしょうか。こちらはこれまでプレミアム率が10%でしたが、コロナ禍の中で地域経済の活性化に向けて、30%にまで上げることもありました。しかし、この商品券だけで商店全体の支援政策が充足されているわけではないので、△と評価します。

## 公約その5

新たな歴史教育と品川、日本を誇りに思える教育を公約に掲げていました。コロナ禍の中で、和牛を使った給食が公立学校で提供されているニュースをご覧になった方はいらっしゃいますでしょうか。実は品川区も公立学校で和牛の入った給食が提供されました。もともとは農林水産省の事業の一つであったのですが、ニュースでこの事業を知り、ぜひ品川区でも手を挙げてもらいたいと2年前の決算委員会で強く提案させて頂きました。当初は、和牛の献立が難しいと

いうことで難色を示されていましたが、ようやくその翌年の初めころから区内の公立小中学校(義務教育学校も含める)で和牛を献立に入れた給食が始まりました。和牛を食べることで、食育を学んでもらい、さらには日本の第一次産業で働く方々への感謝の心が芽生えてくれたのではないかと思います。ですので、やや間接的な形ですが、△とします。続きまして新たな歴史教育です。私は地域の歴史、特に幕末に活躍した偉人の歴史を歴史館を通じて学んでもらいたいと考え、たとえば西大井にある伊藤博文公の墓所など地域とこどもたちが一体となって歴史を学びその中心にたつのが品川歴史館であると思います。政策に掲げていました。これまでも定例会などで提案してきましたが、リニューアル後の歴史館がそのような位置にたつことを期待して△とします。

## 公約その6

品川区の魅力をもっと世界へ発信していきたいと思っています。

ました。それは同時に品川区と姉妹都市の関係にある国との交流やこれから姉妹都市を結びたいと思う国とのかけ橋になりたいと考えていました。またそれらの国のアンテナショップを品川区の大きな通りで開催するなど夢のある政策でした。しかしながら、この3年間にわたりコロナ禍の影響でイベントができず、海外との交流もできませんでした。そういうみでは×です。しかし、私を含めまして、区議会自民党はアジアの国との友好議連に入っています。特に会派全員が日台議連に入っています。まだ姉妹都市交流ができていないアジアの中で台湾との交流を模索し、活動が少しずつですが始まっています。芽がひらくようこの公約はこれからも掲げていきたいと考えます。

## 点検の結果は

おおまかに2019年当時は1の政策を柱にして、公約に掲げていましたのでこの政策を点検しましたところ、○が3つ。△が7つ。×が1つとなりました。

○の政策については、今後もよりよいサービスの向上に向けて取り組んでまいります。△の政策については、大きな目標に向けて、切り口を変えて政策を考えていく提案していく姿勢を大切にしたいと思えます。そして×については、今回のコロナ禍の中で全く前に進みませんでした。可能性を信じて、春には芽が出てくると思いい地道な活動を続けていこうと考えます。

また、19年当時は公約には掲げていなかった課題がこの3年間で顕れてきました。たとえば環境対策です。2050年の脱炭素という大きな国家目標に向けて品川区の今後に向けた政策も含めて、提案していきたいと思えますし、コロナ禍の後の社会の仕事組みも新たな視点をもって提案できるようなしていきたいと考えております。今回は50号という節目にあたりまして、2019年当時の私、こしは新が掲げた公約総点検を書かせて頂きました。(完)